

# ESDとふるさと元気学習



## 養蜂学習2 5年

6月29日(水)

今日は、東塩谷(美作市)の養蜂場を見学です。皆さんは巣箱の中を直接見たことはありませんか。テレビや本で見た、という方が多いのではないのでしょうか。「うわ～、すげ～」巣板を巣箱から取り出した時の子どもたちの反応です。



## メダカ米を調べる 5年

8月31日(水)

「西粟倉の魅力伝えよう」をテーマに、「ふるさと元気食材」について調べています。「メダカ米を調べたい！」と給食でもお世話になっている、井上さんの田んぼでお話を伺いました。ご存じでしたか？メダカ米は、本当にメダカを田んぼに入れて、メダカが住める環境で米を育てているそうです。



本校では、西粟倉の人と自然を題材に、学年のテーマをもって学ぶ「ふるさと元気学習」に取り組んでいます。5年生は、「西粟倉の魅力を伝えよう」をテーマに、養蜂とメダカ米の学びから始まりました。



ミツバチやメダカの住める環境は、西粟倉村の自然環境の豊かさを知ることになり、こうした産業を通して自然環境を守ることの大切さを学びます。

さらに加工した村産のハチミツ、米粉を生かした次のステップが、クッキーの商品開発。

おいしく、喜んで買っていただけるための試行錯誤に取り組みます。味の工夫はもちろん、お店に出すためには、衛生に気を付けること、店頭に出すには賞味期限などの決まりがあることも学びます。

## おいしいクッキー 5年

11月17日(木)

「西粟倉の魅力伝えよう」をテーマに、見学した西粟倉村の「はちみつ」と「米粉」を使ったクッキーの商品開発です。今日は2回目の試作。4つの案から、2つにそして1つの案に絞りました。試作品は審査を受け、上位のものに磨きをかけて、さらに良いものを作ろうとしています。完成品は、BASE101%さんのご協力で期間限定、店舗販売です。



## クッキーの値段 5年

12月14日(水)

商品をつくり生業とするには、適正な価格を設定しながら、品物の良さも宣伝して購買につながる工夫も必要です。



西粟倉産の米粉とはちみつを使った商品開発に取り組む5年生

17 パートナシップで目標を達成しよう



2月には宣伝をし、店頭販売を経験します。あわくら大学で学習の成果を発信していきます。こうした中で、百年の森林構想から村が自然を生かし、産業を生み出し、住みよい村づくりを進めていることへもつながっています。地域生産者、企業の皆さんの協力があるからこそ、このような学習が進められています。

本校は、ユネスコスクール。ふるさと元気学習には、SDGsの視点を多く含みながら学習(ESD)を進めています。